

2018情報通信月間参加行事 報告書

行事ID	Cc027M	行事名	社会情報学会・社会総会シンポジウム	
行事形式	シンポジウム	主催団体	(一社)社会情報学会	
開催日	2018/6/9		開催場所	東京大学工学部2号館9階93B
行事参加者数	40人		WebサイトURL	http://www.ssi.or.jp/event/event20180609.pdf
行事实施概要・アピール等				
<p>「ビッグデータ型AI時代の“人間”のありかた—ネオ・サイバネティクスとICT—」というタイトルで、4名の研究者が報告を行い、2名のコメンテーターを交えてディスカッションを行った。登壇者は、報告者が西垣通(東京経済大学)、原島大輔(東京大学)、河島茂生(青山学院女子短期大学、理化学研究所AIPセンター)、渡邊淳司(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)の4名、コメンテーターが伊藤守(早稲田大学)、砂田薫(国際大学)の2名であった。司会は、西垣通が務めた。全体の時間は、10分間の休憩をはさみ、15時～18時の3時間である。</p> <p>最初に古くから機械的生命・機械的頭脳を作りたい欲望はあり、それがサイバネティクスの見方で広まって現在に至ることを説明した。そのうえで、副題にあるネオ・サイバネティクスの理論を参照しながら、人間と機械との違いはあるのか、自律性とはなにか、AI時代の倫理の考え方、あるいは人間のウェルビーイングを高める情報技術とはなにかを報告しディスカッションを行った。</p> <p>いま、世界のさまざまなところでAI開発・利活用に関するガイドライン・報告書・提言が作られ、AI時代においても人間の尊厳を守り、人間と機械との協調することが求められている。それは、平成30年度情報通信月間のテーマである「ICTで つなげる ひろがる 明るい社会」の根源である。本シンポジウムは、平成30年度情報通信月間のテーマに資するものとして位置づけられ、開催された。</p>				

←ロードバース...セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。

